

投資情報ウィークリー

2017年1月16日号
調査情報部

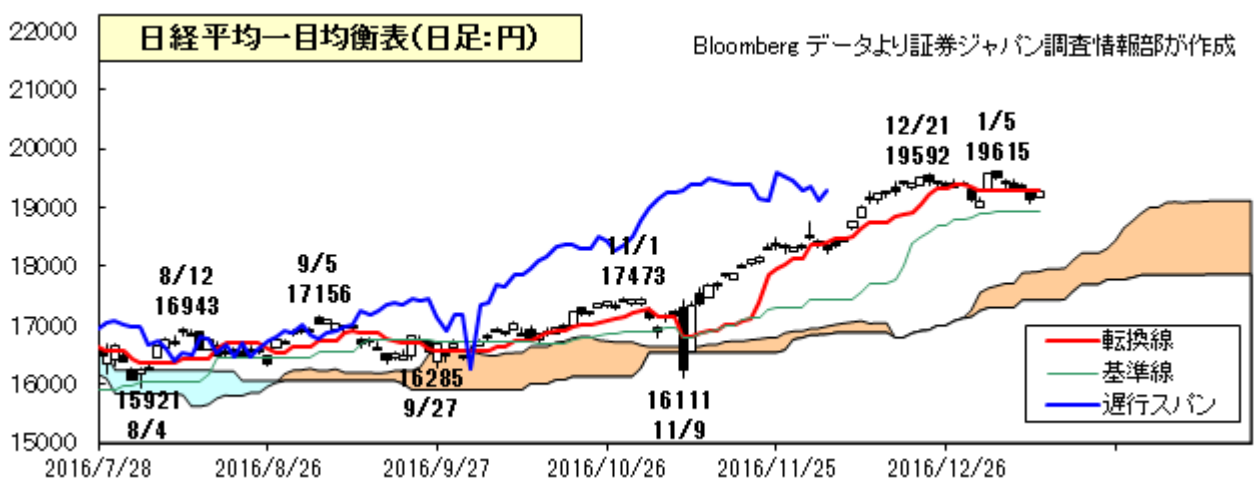
今週の見通し

年初から先週にかけての東京市場は軟調な展開となった。大発会こそ高値追いとなったものの、その後は円安一服に加え、原油安が進む中、利益確定売りに押された。さらに、トランプ次期大統領の記者会見で減税やインフラ投資が話題に上らず、期待外れとなったうえ、貿易不均衡是正への警戒感から円高が進み、見送り姿勢が強まった。週末こそ下げ渋ったものの、主力株がさえない展開となる一方、個別材料株に物色が向かった。なお、1月限オプションSQ値は19182.28円となった。米国市場はNYダウが一時20000ドルに肉薄する場面があったものの、トランプ新政権への期待と不安が交錯し、もう一段伸びきれなかった。為替市場でドル円は、ドル高警戒感から一時約1か月ぶりに1ドル113円台後半を付けた。ユーロ円は英ポンドの急落があったものの、1ユーロ122円を挟んでもみ合いとなった。

今週の東京市場は、やや神経質な展開となろう。20日に米大統領就任式を控え、トランプ氏の発言に引き続き関心が集まろう。日本企業への風当たりやドル高警戒による円安修正の動きに、やや弱含みのもみ合いとなろう。一方、国内企業の10-12月決算発表が近づき、業績上方修正期待も徐々に高まろう。物色は模様眺め気分が強まる中、材料株に人気が集まろう。米国市場は新大統領の発言に対する警戒感がくすぶるものの、良好な経済指標や企業業績を背景に底堅い動きとなろう。為替市場は長期金利や原油価格動向にらみで、ドル円は1ドル113円~116円、ユーロ円は1ユーロ120円~123円のレンジ相場となろう。

今週、国内では16日(月)に11月の機械受注、17日(火)に12月の訪日外国人数が発表されるほか、16日に日銀支店長会議が開かれ、さくらレポートが公表される。一方、海外では18日(水)に12月の米消費者物価、鉱工業生産、ページブック、19日(木)に12月の米住宅着工、20日(金)に10-12月期の中国GDP、12月の中国鉱工業生産、小売売上高が発表されるほか、17日~20日に世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)、19日にECB定例理事会、20日に米大統領就任式が行われる。

テクニカル面で日経平均は、25日移動平均線を2か月ぶりに下回り、大発会に空けた窓を埋めた。日足一目均衡表では転換線を下回った。当面の下値めどは12月30日安値(18991円)や日足一目均衡表の基準線(18921円:13日現在)、12月9日に空けた窓(18765円)などが意識される。一方、上値は1月6日の戻り高値(19615円)や一昨年12月18日高値(19869円)などとなろう。(大谷 正之)



【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

1/13 16:30



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

☆2月決算の主な高配当利回り銘柄群

上場銘柄で決算期が2月である企業数は3月、12月に次いで多く、小売企業等を中心に国内全市場で400銘柄弱存在している。今回のスクリーニングでは、今期予想配当利回りで2%以上の銘柄を中心に選別したが、業績好調でバリュエーション的に割安、取組良好な銘柄も多く、中長期スタンスで注目したい。(野坂 晃一)

表. 2月決算の主な高配当利回り銘柄群

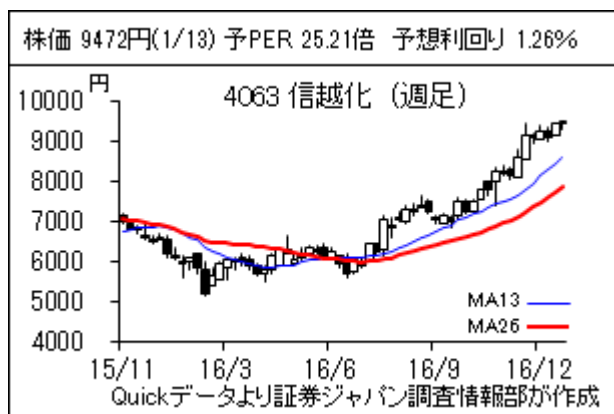
コード	銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	予想利回り (%)	今期予想経常 利益伸率(%)	信用倍率 (倍)	5日乖離率 (%)	25日乖離率 (%)
7603	マックハウス	900	1380.33	0.97	4.44	-32.85	7.91	4.59	13.02
4714	リソー教育	618	24.33	4.98	4.05	10.39	29.69	6.24	9.99
2417	ツヴァイ	845	30.28	0.86	3.55	39.39	-	3.69	6.78
6183	ベル24HD	1022	14.05	1.94	3.52	4.13	7.13	5.82	8.65
3177	ありがとうS	3245	8.66	1.73	3.48	0.49	-	8.22	10.56
2178	トライSTG	2714	31.98	2.27	3.32	39.55	203.50	21.76	31.68
3546	ダイユーHD	799	13.47	1.08	3.25	-	-	13.70	21.83
2186	ソーバル	1304	13.14	1.97	3.22	0.64	-	-0.78	1.12
2341	アルバイトT	224	12.04	1.33	3.13	-30.85	-	3.36	7.69
7847	グラファイト	646	17.67	1.05	3.10	612.77	-	24.70	40.14
5817	JMACS	323	37.63	0.33	3.10	-	-	2.28	7.56
7718	スター精	1562	20.77	1.49	3.07	-40.45	1.22	-2.64	5.97
9778	昂	404	27.46	0.74	2.97	-27.08	-	0.63	4.82
8125	ワキタ	1027	17.80	0.61	2.92	-21.81	5.89	4.00	14.62
7975	リヒトラブ	1720	19.47	0.35	2.91	-	6.00	2.49	7.96
3670	協立情報通信	1721	12.64	1.70	2.91	-	-	3.51	2.26
7427	エコーTD	693	7.09	0.48	2.89	-	3.68	3.12	6.41
8931	和田興産	901	6.93	0.48	2.89	-0.24	113.69	14.04	23.84
3194	キリン堂HD	870	44.81	0.81	2.87	-38.79	93.63	3.81	7.74
4745	東京個別	918	32.51	6.91	2.83	8.10	2.59	16.46	42.11
7811	中本ボックス	3180	17.33	1.29	2.83	7.11	5.02	8.61	21.93
3344	ワンダコーポ	898	20.04	0.50	2.78	-	-	2.05	6.66
3543	コメダ	1879	18.53	3.60	2.66	4.97	9.59	4.70	9.61
8016	オンワード	903	30.98	0.80	2.66	-9.16	0.07	9.37	20.39
9381	エーアイティ	1137	19.76	4.62	2.64	2.81	7.95	6.32	18.19
9945	プレナス	2354	20.96	1.40	2.55	16.09	0.05	3.65	10.72
3366	一六堂	398	12.13	0.75	2.51	36.43	-	6.34	9.63
8185	チヨダ	2827	25.68	1.39	2.48	-19.41	0.05	2.61	9.56
3608	TSIHD	727	30.02	0.72	2.41	77.47	0.56	2.83	14.00
5018	MORESC	1665	10.06	1.28	2.40	5.13	1.18	4.03	14.10
5900	ダイケン	631	11.95	0.32	2.38	4.84	-	1.58	3.10
2686	ジーフット	843	11.56	1.42	2.37	8.72	-	5.96	10.73
2685	アダストリア	3165	12.41	2.69	2.37	6.89	1.89	-1.92	10.69
8289	オリンピック	636	24.35	0.58	2.36	110.97	1.90	2.77	9.96
2726	バルHD	3055	15.21	1.81	2.29	33.25	0.54	6.82	15.04
2294	柿安本店	1967	15.83	1.68	2.29	0.95	62.40	2.51	4.46
3050	DCM	1061	13.29	0.84	2.26	5.21	2.46	3.27	11.17
8217	オークワ	1158	38.29	0.66	2.25	23.91	0.16	-0.63	5.86
2789	カルラ	448	44.86	0.84	2.23	-35.19	-	1.11	1.75
9977	アオキスーパ	1360	10.22	0.87	2.21	-12.17	-	0.93	2.89
8168	ケーヨー	570	29.97	0.89	2.19	87.84	0.74	3.13	6.43
9716	乃村工芸社	1733	21.43	2.83	2.19	14.52	2.50	3.85	5.01
9946	ミニストップ	2060	298.50	1.04	2.18	-31.56	0.20	2.53	9.88
3080	ジェーン	419	13.09	1.76	2.15	5.73	-	7.71	13.91
8287	MV西日本	1686	17.01	0.96	2.08	1.98	-	1.76	2.92
9835	ジュンテン	483	15.58	0.36	2.07	4.17	-	23.08	31.69
8251	バルコ	1065	15.66	0.90	2.07	3.37	0.05	2.70	6.76
8008	4°Cホールデ	2472	12.72	1.35	2.02	12.34	1.85	-0.76	-1.00

*指標は1/11時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

信越化学(4063・東 1)

半導体シリコンウエハ、塩ビ樹脂で世界トップ。半導体シリコンは堅調なスマホ向け需要やメモリデバイス向けに好調を維持、シリコンも化粧品向けや車載向けに伸びている。また、希土類磁石はハイブリッド車向けなどに好調だ。加えて、塩ビも北米の生産増強により、今後のインフラ投資拡大の恩恵を受けそうだ。



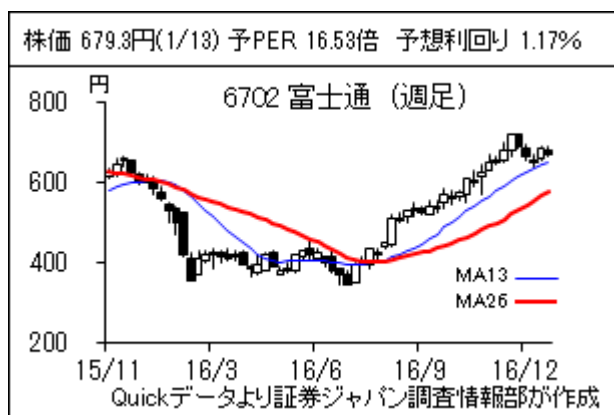
オリエンタルランド(4661・東 1)

東京ディズニーランド・シーの運営会社で、周辺でホテルや商業施設も展開。来期はアニバーサリー・イベント(シー15周年)剥落も、17年5月にはシーに『ニモ&フレンズ・シーライダー』がオープン。2020年には『美女と野獣』の新エリアも。賃金上昇や余暇拡大により、レジャー関連は2017年の有力セクターになりそうだ。



富士通(6702・東 1)

ICT サービス、サーバーで国内トップ。構造改革を推進中。コストダウンを加速する他、テクノロジー(IoT、クラウド、AI、セキュリティなどの成長分野)に経営資源を集中、ビッグデータを中心としたつながるサービスをグローバルに展開していく方針。AI 関連では新サービスを開始予定で、2020年度までに累計3200億円の売上高を目指す。



アルプス電気(6770・東 1)

電子部品大手で、車載関連に強みを持つ。スマホ向けは中国が好調持続、車載モジュールは生産性向上で採算改善を見込む。円高一巡で業績急回復が期待される。また、IoT 市場に向けた様々な製品もラインナップしており、同市場の拡大の恩恵を受けそうだ。



【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

日産自動車(7201・東 1)

三菱自動車への再建支援で軽自動車の拡充や電気自動車でのシナジー効果を狙う。今期の営業利益は、為替1ドル105円、グループの世界販売台数560万台を前提として、前年比10%減の7100億円を計画している。なお、2011年3月期の復配以降、每期増配が続いている。



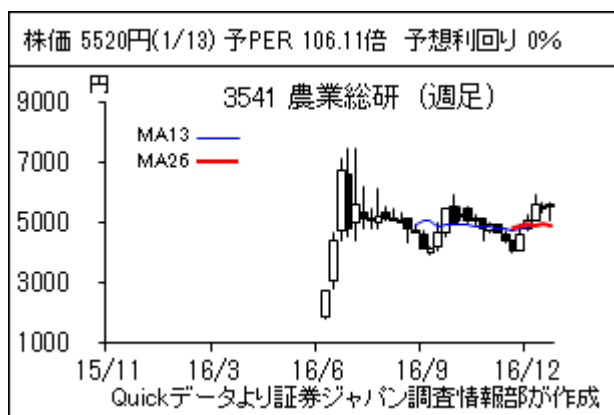
黒田電気(7517・東 1)

独立系電子部品商社で、車載用プリント基板や液晶パネル部材などが主力だが、HDD部品や車載用部材の金型、液晶パネル向け部材の製造も手掛けている。自動車関連向けの拡大に加え、世界的なデジタル放送移行による液晶パネル需要の回復が見込まれよう。



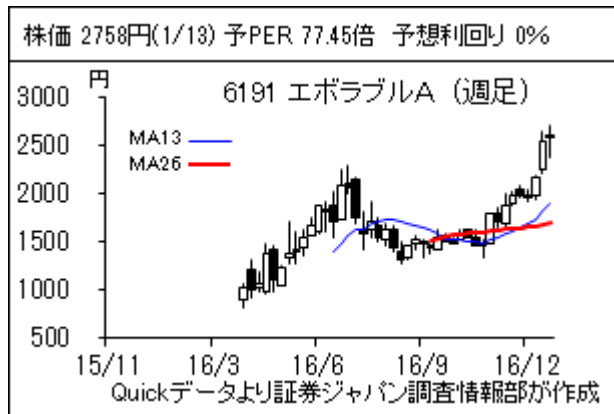
農業総合研究所(3541・東M)

昨年6月16日上場。全国の生産者から野菜や果物などの農産物を集荷し、スーパーなどの小売店で販売する委託販売システムが柱。主要取引先にはヤオコー、いなげや、イズミヤなどのスーパーが顔をそろえる。産地直送で、生産者の顔が見える野菜売り場として人気広がっている。



エボラブルアジア(6191・東M)

昨年3月31日上場。OTA(オンライン・トラベル・エージェンシー)業界で国内航空券取扱トップ。また、OTAでスカイマークやLCC4社も扱うのは同社のみ。訪日旅行事業では民泊サイトなども開設。ベトナムでITオフショア開発事業(情報システム、ソフトウェア等の海外開発委託)も手掛けている。



(大谷 正之)

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

タイムテーブルと決算予定(予定は変更になる場合があります)

<国内スケジュール>

1月16日(月)

- 12月企業物価(8:50、日銀)
- 11月機械受注(8:50、内閣府)
- 日銀支店長会議
- 黒田日銀総裁が支店長会議であいさつ(9:30)
- さくらレポート(14:00、日銀)
- 11月産業機械受注(11:00、産工会)
- 11月第3次産業活動指数(13:30、経産省)

1月17日(火)

- 12月、16年訪日外国人数(16:00、政府観光局)

1月18日(水)

- 特になし

1月19日(木)

- 12月、16年首都圏マンション発売(不動産経済研)

1月20日(金)

- 12月、16年全国百貨店売上高(14:30、百貨店協)
- 12月、16年主要コンビニ売上高(16:00、FC協)
- 06年7～12月の日銀決定会合議事録(8:50)
- 12月半導体製造装置BBレシオ(16:00、SEAJ)

<国内決算>

1月16日(月)

- 15:00～ <3Q>ホギメデカル<3593>、東宝<9602>
- 時間未定 <3Q>アデランス<8170>

1月19日(木)

- 16:00～ <3Q>安川情報<2354>
- 時間未定 津田駒<6217>

1月20日(金)

- 15:00～ <3Q>東製鉄<5423>、ジャフコ<8595>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

タイムテーブルと決算予定(予定は変更になる場合があります)

<海外スケジュール・現地時間>

1月16日(月)

休場 米(キング牧師誕生日)

1月17日(火)

独 1月ZEW景気期待指数

米 1月NY州製造業景況指数

世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)(20日まで、スイス)

1月18日(水)

米 12月消費者物価

米 12月鉱工業生産・設備稼働率

米 ベージュブック

1月19日(木)

ECB定例理事会

ドラギECB総裁会見

米 12月住宅着工

米 1月フィラデルフィア連銀製造業景況指数

1月20日(金)

中 10~12月期、16年GDP

中 12月、16年鉱工業生産・小売売上高・都市部固定資産投資

米大統領就任式

<海外決算・現地時間>

1月17日(火)

モルガン・スタンレー、ユナイテッド・ヘルス

1月18日(水)

シティグループ、ゴールドマン・サックス、ネットフリックス

1月19日(木)

アマックス、IBM、チェックポイント

1月20日(金)

GE

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

投資にあたっての注意事項

●手数料について

○国内金融商品取引所上場株式の委託取引を行う場合、一取引につき対面取引では約定代金に対して最大 1.2420% (税込) (但し、最低 2,700 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。また、インターネット取引では、「約定毎手数料コース」においては、1 取引の約定代金が 100 万円以下の場合は 1 取引につき 540 円 (税込)、1 取引の約定代金が 100 万円超の場合は 1 取引につき 1,080 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。「1 日定額コース」においては、1 日の約定代金 300 万円ごとに 1,620 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。

募集等により取得する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

※1 日定額コースは、取引回数 (注 1) が 30 回以上の場合、現行の手数料に加えて 21,600 円 (税込) の追加手数料を加算させていただきます。(注 2)

注 1 取引回数=約定に至った注文の数

注 2 複数市場へのご注文は市場ごとに 1 回の注文となります。

○外国金融商品取引所上場株式の外国取引を行う場合、売買金額 (現地約定代金に買いの場合は現地諸費用を加え、売りの場合は現地諸費用を差し引いた額) に対して最大 1.2960% (税込) の取次手数料をご負担いただきます。

○非上場債券 (国債、地方債、政府保証債、社債) を当社が相手方となりお買付けいただく場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

○投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等諸経費等をご負担いただきます。

○外貨建て商品の場合、円貨と外貨の交換、または異なる外貨間の交換については、為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによります。

●リスクについて

○株式は、株価変動による元本の損失を生じるおそれがあります。また、信用取引を行う場合は、対面取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 100 万円以上、インターネット取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 30 万円以上の委託保証金の差し入れが必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が多額となり差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。外国株式の場合、為替相場によっても元本の損失を生じるおそれがあります。

○債券は、金利水準の変動等により価格が上下することから、元本の損失を生じるおそれがあります。

外国債券は、金利水準に加えて、為替相場の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。

○投資信託は、銘柄により異なるリスクが存在しており、各銘柄の組入有価証券の価格の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。各銘柄のリスクにつきましては目論見書等をよくお読み下さい。

●お取引にあたっては、開設された口座や商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読み下さい。これら目論見書等、資料のご請求は各店の窓口までお申出下さい。

●銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。

●本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

2017 年 1 月 13 日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。

●当社の概要

商号等：株式会社証券ジャパン 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 170 号

加入協会：日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2017 年 1 月 13 日

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。